

平成 18 年 6 月 26 日	於：岐阜商工会議所内経済記者クラブ	
担当部	担当者	電話番号
情報支援部	主任研究員 澤田 裕司	0 5 8 - 2 7 7 - 1 0 8 2

「岐阜県の景況調査」(2006 年第 2 四半期) 結果について

調査概要

- < 調査方法 > 郵送によるアンケート調査
- < 調査時点 > 2006 年 6 月 1 日
- < サンプル数 > 県内企業 1 0 0 0 社 [250 社から増加して 5 回目]
- < 有効回答数 > 4 8 1 社 (4 8 . 1 %) [内訳：製造業 32.6%、非製造業 67.4%]
(2005 年 4 Q 45.5%、2006 年 1 Q 45.1%)

今回の調査結果のポイント

売上高、生産量、受注量の各 D I は順調に上昇し、製品販売価格 D I も上昇した。しかし、それ以上に原材料仕入価格 D I の上昇圧力が大きく、採算 D I は二期連続低下。景況 D I も二期連続の低下となった。

概況：売上高は増加するも、原材料高により景況感は低下した。

景況 D I は二期連続の低下。3.2 ポイント低下し 18.3 となった。製造業は、「紙・パルプ・印刷」「金属製品」「機械」は上昇。「食品」「繊維・衣服」等で低下した。非製造業の「卸売」「飲食店」は大幅上昇。

売上高 D I は、上昇に転じ、製造業では「木材・家具」「金属製品」「機械」が上昇。「繊維・衣服」「窯業土石」は低下した。非製造業の商業部門は大幅上昇した。特に「卸売」「飲食店」が大きく上昇した。

生産量・受注量 D I は、四期連続上昇。「食品」が両 D I で大幅上昇している。「窯業土石」は生産量 D I で大幅上昇。受注量 D I では「繊維・衣服」「飲食店」の上昇が目立つ。

在庫量 D I は二期連続上昇だが、「繊維・衣服」「木材・家具」「化学・プラスチック」で特に大幅増加(在庫増加)し、「紙・パルプ・印刷」は大幅減少している。

設備投資では実施 D I、意欲 D I とともに五期ぶりに低下。実施 D I で、全体の実施目的で

は『生産能力拡大・売上増』『補修・更新』が同率第1位となり、製造業において『生産能力拡大・売上増』が第1位を維持した。また、来期見通しの実施目的(全体)において『生産拡大・売上増』が前期に引続き第1位になり、依然積極的な設備投資が窺われる。意欲DIは「機械」「サービス(企業関連、他)」が上昇。

雇用DIにおいては、十期連続で「不足」超過となるが、「不足」感は縮小した。「金属製品」「小売」以外の業種で「不足感」が縮小した。

仕入・販売価格DIは過去最高の水準を更新した。全体の動きとしては、仕入の上昇を1年遅れで販売に転嫁している状態だが、原材料価格DIの上昇ポイントの方が大きい。

採算DIは、二期連続で低下した。「化学・プラスチック」「窯業土石」「運輸・通信」「飲食店」「サービス(余暇関連)」で大幅上昇。「機械」「建設」は大幅低下した。

資金繰り・借入れ難易感DIはともに改善へ転じた。そのなかでも、資金繰りDIは「食品」「飲食店」で大幅改善、借入れ難易感DIは「食品」「機械」「小売」で大幅改善している。

この4-6月期は、売上、受注等は比較的順調に推移した様子であるが、原油、素材関連の高騰が影響し、採算ベースでは低下した模様。来期については、原材料仕入価格は多少落ち着く見通しであり、採算面でも製造業、非製造業とも改善する見通しである。全体に、商業、サービス部門の売上が上昇してきており、今回の景気上昇が、製造業から波及しつつある様子がうかがえる。

ホームページでの情報提供・6月30日以降